



**図書館留学：教職協働の学習支援への取り組み
～語学力の向上に向けて～**

**2012年2月16日
兵庫県大学図書館協議会研究会**

本日の発表の概要

■ 神戸学院大学図書館における学習支援の取り組みについて

◆神戸学院大学図書館について

◆学習支援の取り組み展開における方針及び背景について

◆学習支援の具体的事例について

◆図書館留学：教職協働の学習支援への取り組みについて

◆今後の課題について

■ まとめ

学習支援の取組み展開における方針と背景(1)

■ 本学の方針

1. 建学の精神 「真理愛好」「個性尊重」

2. 教育基本理念

「生涯にわたる人間形成の基点となりうる教育」

「生涯にわたり高い専門性を修得できる教育」

「グローバルな視点から地域社会の多様なニーズに対応できる教育」

3. 学長のスローガン 「元気な大学、神戸学院！」

4. 地域に開かれた大学として、地域との連携を重視

学習支援の取組み展開における方針と背景(2)

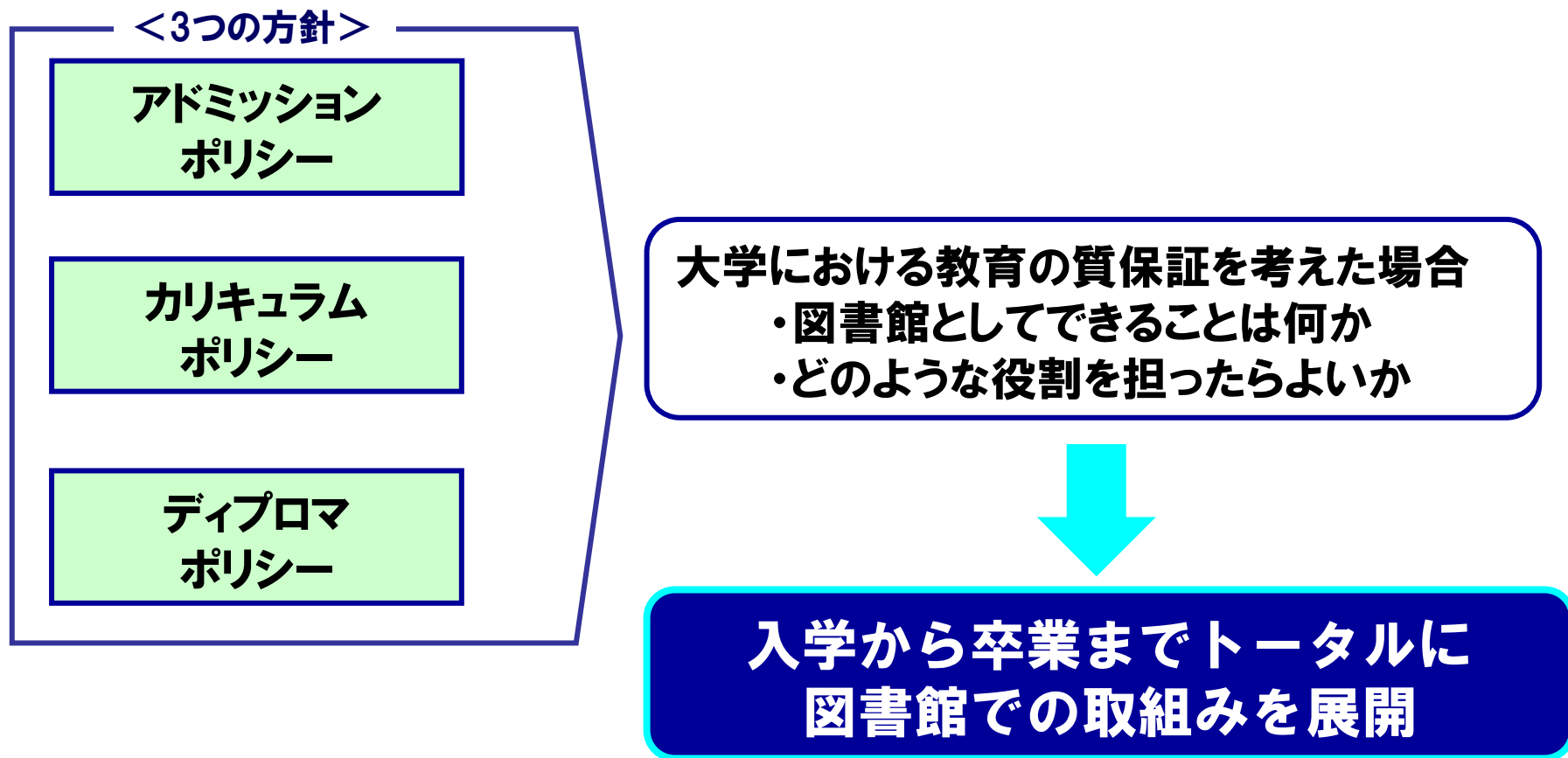
■ 文科省の答申等

1. 文科省中央教育審議会大学審議会「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について」(答申)2000.11.22
2. 文科省中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」(答申)2008.12.24
3. 上記2.と連動して審議が進められている、文部科学大臣が中教審に諮問した「中長期的な大学教育の在り方について」の報告(第四次報告2010.6.29)
4. 科学技術・学術審議会「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像」2010.12

■ 文科省の就業力向上と経済産業省の社会人基礎力

学習支援の具体的事例について(1)

■ 学士課程教育における3つの方針の明確化



学習支援の具体的事例について(2)

■ 学士課程教育における3つの方針の明確化

<具体的な取組み>

アドミッション
ポリシー

高校時代の小さな図書室から、大学の大きな図書館利用へのスムーズな連結を図るため、学習意欲を高めるための初年次教育、導入教育を丹念に行う。

カリキュラム
ポリシー

図書館への敷居を低くするため、様々な“楽しめる”企画を実施する。

ディプロマ
ポリシー

学習支援の具体的事例について(3)

■ 学士課程教育における3つの方針の明確化

アドミッション
ポリシー

情報探索の基本的なところ、たとえば、OPACや一部データベースの利用方法を教えることで、図書館で自分がほしい図書を自分で探し出す醍醐味を知り、図書館に気軽に足を運べるようにする。

<具体的な取組み>

カリキュラム
ポリシー

この頃には、図書館によく通ってくる学生とは顔なじみ。「あっ！こんにちは」などと、親近感を持った接し方も心がける。

ディプロマ
ポリシー

その後、段階を踏んで、レポートや論文作成に対応できるよう、教員との綿密な打ち合わせのもと、高度な検索方法や学部の特化したデータベースを紹介。インターネットで調べることの利点は利点として示し、避けるべき事柄も明確に教える。

学習支援の具体的事例について(4)

■ 学士課程教育における3つの方針の明確化

アドミッション
ポリシー

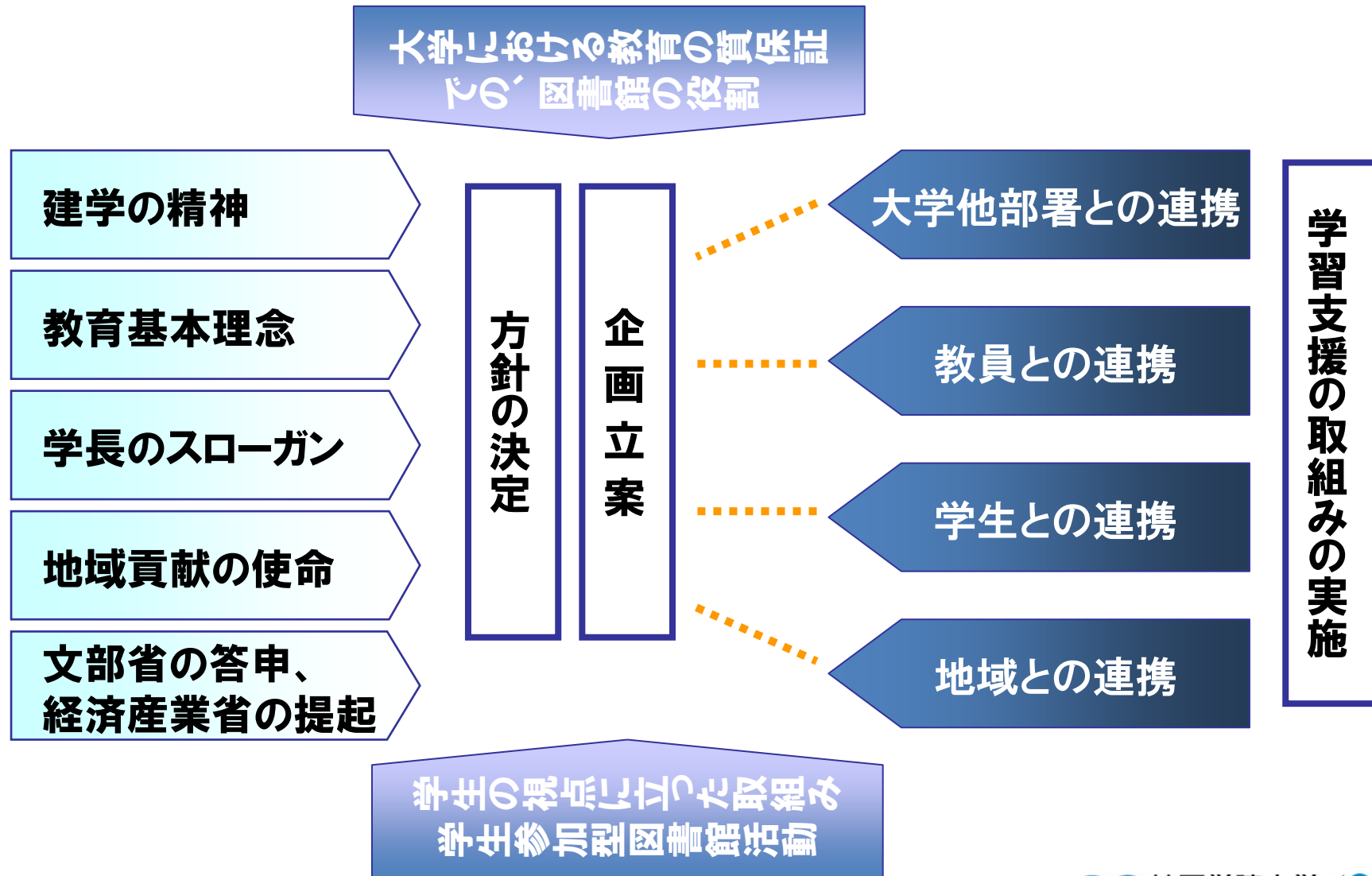
カリキュラム
ポリシー

<具体的な取組み>

ディプロマ
ポリシー

こういった初年次教育、導入教育に始まり、教員との連携による様々な学習支援と図書館における学習環境の整備。そして、キャリア教育も視野に入れた、4年間という在籍期間を通しての図書館の利用を組み込んだ語学力アップの取組みを現在展開中。

学習支援の取組み展開の全体的な流れ



図書館留学:教職協働の学習支援への取り組み(1)

■ 図書館留学の目的について

- ◆ 就職活動において重要視されている英語力をつけるための様々な支援を行う。
⇒ 教育の場としての図書館の位置付けを明確化する。
- ◆ 図書館が英語力アップを図れる環境を整備する。
⇒ 英語を学習できる場と適切な資料を提供する。
- ◆ 図書館が楽しく英語学習を継続できるよう支援する。
⇒ 様々な企画(図書館留学のメニュー)を行う。

図書館留学:教職協働の学習支援への取り組み(2)

■ 図書館留学の構成について

◆ 7種類のメニューを取り揃えている。

- (a) 超・多読コーナー
- (b) 多読ラリー『てくてくEnglish』
- (c) 多聴ラリー『Englishシャワー』
- (d) シネマで週一English
- (e) 英語でBook Talk
- (f) Bilingual Library
- (g) キャリアコーナー『世界を舞台に働こう!』

■ 学生の語学力を高める支援に乗り出した経緯について

- ◆ 新入生の英語力の低下 ⇒ 近年交換留学生として派遣できず
- ◆ 英語の苦手意識 ⇒ 就職活動において苦戦

図書館留学:教職協働の学習支援への取り組み(3)

図書館における学習支援 図書館と教員との連携

◆図書館留学 図書館の資料を利用して英語力をつけるための支援

図書館(司書)

教員

場所=図書館



「図書館留学」の第1弾は、
多読ラリー「てくてくEnglish」。
4月に入学した学生が卒業する
までに英語力をつけようという
4年がかりの構想。

- ◆参加者数353名 (1月31日現在)
- ◆連携教員 5名 (1月31日現在)

図書館留学:教職協働の学習支援への取り組み(4)

◆図書館留学 第1弾 多読ラリー「てくてくEnglish」実施状況

()内はポーアイ図書館にての実施内数

区分	ポイント達成者数	申込者数	ポイント達成者数			
			5,000	20,000	40,000	60,000
学生	法学部	127(23)	45(8)	11	5	4
	経済学部	18(2)	9	3	1	
	経営学部	81(20)	17(3)	8	3	2
	人文学部	85 (内、院生1)	26	16	8	3
	栄養学部	1	1	1		
	総合リハビリテーション学部	5	1	1	1	1
	薬学部	23(22)	8(8)	3(3)	3(3)	2(2)
卒業生	4(2)	1				
学外利用登録者	4(1)	1	1	1		
教職員	5(1)					
合計		353(71)	(2012年1月31日現在)			

今後の課題

■ 2011年度の多読ラリーの検証について

- ◆ エントリー学生に対するヒアリング及びアンケート調査
- ◆ 教員からの評価

■ 2012年度の多読ラリーについて

- ◆ 情宣活動の強化
- ◆ エントリー学生の自己評価
- ◆ 教員からの評価

まとめ 学習支援のための取組み

学習支援の主導権は図書館(司書)にあり

図書館司書は、図書館の膨大な資料を知り尽くしている

図書館司書は、求める資料へ的確に導くことができる

キーワードは「連携」

他部署との
連携

教員との
連携

学生との
連携

地域との
連携

「シェウカツに
勝つ」等

“Reference Delivery”
「図書館留学」等

学生ボランティア、
学生情報通信員 等

書籍テーマ展示関連
講演会、企画展示 等

人的支援サービスの
行方は・・・

教育の場としての図書館の位置付けの明確化へ

図書館留学：教職協働の学習支援への取り組み

ご清聴ありがとうございました。

神戸学院大学図書館事務グループ

小畑 佳弘

kobata@j.kobegakuin.ac.jp